

大会結果

1位	荒砥	2時間 07分 44秒
2位	鷹山	2時間 08分 38秒
3位	蚕桑	2時間 09分 52秒
4位	東根	2時間 12分 20秒
5位	十王	2時間 13分 47秒
6位	鮎貝	2時間 16分 52秒



町誕生64周年記念地区対抗駅伝競走大会は10月7日、町内16区間を結ぶ総距離34・6キロのコースで行われました。

この日は強風が吹き荒れるあいにくのコンディションとなりましたが、午前9時30分、1区を任された小学生のランナーたちが勢いよくスタート。東根チームの小形武美選手が接戦を制し、トップでタスキをリレーすると、その後は順位が目まぐるしく変化する展開となり、勝負は鷹山チームと荒砥チームによるアンカー対決へ。約2秒差の2位でタスキを受けた荒砥

①追い風を受け、勢いよくスタートを切る小学生ランナー  
②両手を上げてゴールに飛び込む荒砥チームの小出選手

地域のキズナをタスキに込めて——町誕生64周年記念地区対抗駅伝競走大会

町誕生64周年記念地区対抗駅伝競走大会は10月7日、町内16区間を結ぶ総距離34・6キロのコースで行われました。

チームの小出和広選手が鷹山チームの守谷俊一郎選手をかわし、区間賞の走りです。3連覇のゴールテープを切りました。

工事の安全を祈願し——まちづくり複合施設上棟式

「まちづくり複合施設」整備工事の上棟式が10月23日、現役場庁舎近くの建設現場で行われました。

この日は、町関係者や設計・監理業者及び施工業者、町内の園児など約200人が出席。棟上げを祝い、今後の工事の安全を祈願しました。佐藤町長は「町産材をふんだんに使った当施設への注目度は高く、多くの関心が集まっている。引き続き一つひとつの作業に注意いただきながら、安全に工事を進めてほしい」とあいさつ。その後、お誂いの披露と餅まきが行われ、参加した園児たちが歓声をあげながら秋晴れの空へと手を伸ばしました。

施設は延べ床面積約4,600㎡で木造2階建て。町民活動の拠点となる町民ラウンジやミーティングスペース、図書館を備えるほか、町内資源の活用と林産業の振興を図り地元産材を燃料とするバイオマスボイラーを導入します。供用開始予定は、平成31年5月です。



1\_工事の安全を願って執り行われた神事  
2\_空から降ってくる餅やお菓子に大はしゃぎの園児たち

まちづくり複合施設等整備工事の進捗状況は、町ホームページやFacebookで随時お知らせしています。ぜひご覧ください。



長年にわたり更生保護に尽力 保護司や更生保護女性会員など5人に表彰

10月25日、寒河江市市民文化会館で行われた第46回山形県更生保護大会の席上で、長年にわたり更生保護に尽力された下記の5人が表彰されました。

なお、更生保護とは犯罪や非行をした人の立ち直りを社会の中で見守り、地域の力で支えていくことです。保護司は犯罪や非行により「保護観察」を受け

ることになった人の生活を見守り、さまざまな相談にのったり、指導をしています。犯罪を予防するための地域活動にも取り組んでいます。

また、更生保護女性会は、女性の立場から地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティア団体です。

■表彰者一覧

東北地方保護司連盟会長表彰 (保護司)	小林宣浩さん (畔藤)
東北地方更生保護女性連盟会長表彰 (更生保護女性会員)	木口とよさん (荒砥乙)
山形保護観察所長感謝状 (内助功労者)	丸川恵子さん (横田尻)
山形保護観察所長感謝状 (更生保護女性会員)	湯澤裕子さん (山口)
山形保護観察所長感謝状 (更生保護女性会員)	山口美智子さん (鮎貝)

第6次総合計画策定 まちづくり町民会議をキックオフ

町では、第5次白鷹町総合計画に基づき「笑顔がやき心かよう美しいまち」を将来像に掲げ、安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会を実現するためのまちづくりに取り組んでいます。

このたび、今後のまちづくりの基本的な方向性を示す新たな総合計画の策定に向け、広く町民の皆さんの意見を伺うための「まちづくり町民会議」を開催することとなりました。

9月27日に行われた第1回会議では、各分野から集められた委員の皆さんに委



町職員と一緒に議論をしています

嘱書を交付。その後、町職員とともにワークショップを行い、白鷹町の魅力・強みについて意見を出し合いました。同会議には地域力創造アドバイザー（総務省制度）の前神有里さんを招き、他県のまちづくりの好事例と置賜での好事例を結びつけた紹介など、イメージしやすい話を交えることで意見の出しやすい雰囲気となりました。

また、10月31日に行われた第2回会議では、地区毎の将来人口の推計結果などを踏まえ、本町の現状分析を行いました。

町の水泳競技の普及発展に尽力 田勢一雄さんに生涯スポーツ功労者表彰

10月5日、東京都において平成30年度生涯スポーツ功労者表彰式が行われ、文部科学大臣から田勢一雄さん（横田尻）に表彰状が贈られました。

田勢さんは、昭和59年から県水泳連盟の理事として学童からマスターズまでの水泳記録を処理、情報提供

を行なってきたこと、平成8年からは東北水泳連盟の情報システム委員長、平成25年からは県水泳連盟副会長として、現在も活躍されています。これまで、長年にわたり水泳競技の普及発展に尽力されてきたことが認められ、このたびの表彰となりました。

感謝状を手にする田勢さん

